

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから  
[\(日本スポーツ振興センター HP\) http://www.jpnsport.go.jp/](http://www.jpnsport.go.jp/)

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。  
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,688件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

➤ 「クラブの広報活動」に係る Q&A 紹介 [クリック▶](#)

➤ 〈連載〉SC 全国ネットワーク

「都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」

- ▶ [活動報告 VOL.10](#)
- ▶ [活動報告 VOL.11](#)

➤ 助成金情報

[申込締切：7月31日まで](#)

➤ お知らせ

- ▶ [総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」の募集開始!!](#)
- ▶ [労力半分、効果は2倍! あなたにもできる「クラブのらくらく広報」を作成!](#)
- ▶ [「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について](#)
- ▶ [「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン特別セミナーを開催!](#)
- ▶ [2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!](#)

\*\*\*\*\*  
\*  
\* あくしゅ、あいさつ、ありがとう \*  
\* 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン \*  
\* <http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/> \*  
\*  
\*\*\*\*\*

## 「クラブの広報活動」に係る Q&A 紹介

クラブの安定的な運営を目指すには、会員確保や認知度向上に向けた広報活動が欠かせません。

日本体育協会のHPにある「SCステーション」では、総合型クラブの設立、運営に関する疑問や不安に対して、Q&A形式で分かりやすく回答を紹介しています。今回は、「SCステーション」の中からクラブの広報活動に係るおススメQ&Aを紹介します！

- ▶ Q6-2 広報・PRの意味とその種類は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/105.html>

- ▶ Q6-4 クラブ紹介のパンフレットの効果的な内容・作り方は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/155.html>

- ▶ Q6-8 学校でパンフレットやチラシを配りたいのですが。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/196.html>

- ▶ Q6-18 はじめての会員募集はどのように行えばいいですか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/262.html>

- ▶ Q6-22 最新情報システムを利用するメリットと方法は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/124/Default.aspx?QuestionID=519&AFMID=544>

上記Q&Aのほかに、広報活動をより実践的に、かつ、すぐ活用できるノウハウをまとめた「クラブのらくらく広報」も作成していますので、ぜひご活用ください。

- ▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

※「SCステーション」について

- ▶ 全てのQ&Aはこちらから

[http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/local/pdf/sc\\_q\\_list.pdf](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/local/pdf/sc_q_list.pdf)

- ▶ Q&Aをキーワード検索する場合はこちらから（ページ中段）

<http://www.japan-sports.or.jp/sc/tabid/67/Default.aspx>

- ▶ クラブ活動でのシーン別Q&Aはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/341/Default.aspx>

# 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

## ～ 県内クラブと連絡協議会の自立を目指して～

### 1 概要

- 加盟料 … なし
- 会議事業 … ○第1回(6月)… 総会
  - 内容：総会後にグループディスカッション  
(平成24年度テーマ「効果的な事業の企画・運営について」)
- 第2回(9月頃)… 県内クラブ視察及び情報交換
  - 内容：午前：クラブの取組み発表及びクラブ活動見学、午後：グループディスカッション  
(平成24年度テーマ「各クラブの未来像について」)
- 第3回(12月以降)… 「クラブマネジャー養成講習会[スキルアップセミナー]」  
(とちぎ広域スポーツセンター主催)との併催
  - 内容：午前：クラブマネジャー養成講習会、午後：グループ別ワークショップ  
(平成24年度：アイデアの出し方、コミュニケーションの取り方の勉強)
- ◆会場使用料：無料(県教育委員会名で申し込むため減免)
- ◆参加費：無料
- 交流会事業 … 内容：県内クラブの交流会(年1回)
  - ◆参加費：1クラブ当り1,000円(平成24年度：50,000円)
  - ◆その他：toto助成金(広域スポーツセンター指導者派遣等事業)  
(平成24年度：60,000円)  
※平成25年度は、当該toto助成事業が廃止となったため、1クラブ当り1,000円の参加費+クラブからの協賛金(1口：1,000円)を募る予定。

### 2 設立までの経緯

栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会は、県内クラブの関係者が一堂に会し、クラブ運営上の問題・課題等について協議するとともに、クラブ間の連携・協力体制を図ることを目的に、平成21年6月7日に発足しました。

とちぎ広域スポーツセンターと県体育協会の協力もあり、設立当初から県内全てのクラブに加盟していただいております。(平成25年4月現在で50クラブ、創設準備中2クラブが加盟)

栃木県は地理的な条件が良いこともあり、本県連絡協議会には毎回多数のクラブに参加いただき、有意義な情報交換を重ねています。このことから、栃木県の特徴としては「県内クラブのまとまりの良さ」が挙げられるのではと考えています。

### 3 連絡協議会の活動内容

本県連絡協議会では、年3回の会議事業を行っています。(上記1参照)

各会議は、クラブ関係者であればどなたでも、何人でも参加することができるように設定しているため、クラブ代表者の方がクラブ運営の後継者となる方を連れて参加されるケースもよく見受けられ、次世代のクラブマネジャー育成の場としての役割も果たしているように思います。

また、各会議で設けている情報交換の場では、参加者がその中から新しい発見や課題解決のためのヒントを得ており、欠かすことのできない機会になっています。



## 4 交流会の開催

本県連絡協議会の主要事業として、年1回の交流会を実施しています。これは、県内を県北・県央・県南の3地区に分け、各地区の持ち回りにより県内クラブのネットワーク構築のため開催するもので、昨年度（平成24年度）で7回目の開催となりました。

内容としては、担当地区のクラブがスポーツ・レクリエーション種目のプログラムを提供して、参加者同士がお互い汗を流して交流を深めるほか、担当地区のクラブの活動紹介コーナーを設けるなど、参加クラブにとっては研修のひとつにもなっています。

また、この交流会には、クラブ関係者以外の一般の方が自由に参加できるようにして、県民に広く総合型クラブへの興味・関心を持っていただけるよう心がけています。



## 5 今後の展望

今年で、本県連絡協議会も節目となる設立5年目を迎えました。発足当初の加盟34クラブから、現在では50を超えるクラブを束ねる団体として、今後さらに事業の充実が期待されるものと責任を感じています。

その役割を果たしていく上で、将来的には自己財源の確保や事務局体制の整備等、連絡協議会の自立を目指したいと考えています。

本県連絡協議会は、言わば県内全クラブの集合体であり、その自立のためには県内個々のクラブの自立がなくてはなりません。

今後、本県連絡協議会として県内クラブの自立を促すため、より一層事業の充実を図り、県内クラブ同士の結束を固めるとともに、とちぎ広域スポーツセンター及び県体育協会との連携のもと、協議会自立に向けた組織づくりを進めたいと思います。

本間 秀雄（栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長）

## 6 連絡先

栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20 栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課内

とちぎ広域スポーツセンター 気付

TEL：028-623-3416 FAX：028-623-3411

# 石川県クラブ連絡協議会 (いしかわクラブゾーン)

## ～ みんなで考え、創造する未来 ～

### 1 概要

- 年会費 … 1. 基本会費：10,000円
  - 2. 前年度の会員数にもとづき、下記基準のとおり算出
  - 3. 前年度の決算額にもとづき、下記基準のとおり算出
- 上記1～3までの合計金額を年会費とする。

<算出表>

前年度の会員数による算出基準

会員数(名)	会費(円)	区分
～199	2,500	A
200～299	5,000	B
300～499	7,500	C
500～799	10,000	D
800～999	12,500	E
1,000～	15,000	F

前年度の決算額による算出基準

決算額(千円)	会費(円)	区分
～999	2,500	A
1,000～1,999	5,000	B
2,000～4,999	10,000	C
5,000～9,999	15,000	D
10,000～14,999	22,500	E
15,000～29,999	30,000	F
30,000～	50,000	G

- 事業 … ○県外先進クラブ視察、ブロック別クラブネットワークアクション、全国スポーツクラブ会議への合同参加(マイクロバス借用料の助成)
- 公認スポーツリーダー養成講習会

### 2 設立経緯と協議会概要

石川県クラブ連絡協議会[通称：いしかわクラブゾーン](以下、クラブゾーン)は「各クラブが主体となり、協働のもと、各クラブがクラブ運営に必要なマネジメント能力を高め、地域のスポーツ振興ならびにまちづくりに寄与すること」を目的として平成22年11月14日に設立されました。設立当初は17クラブでのスタートでしたが、平成25年4月末時点では県内32クラブのうち20クラブが加盟しています。

設立に際しては、「クラブ連絡協議会について考える会」、「クラブ連絡協議会設立準備委員会」を経て、名称・事業・予算等についてクラブ間で協議を重ね、「与えられたネットワーク」ではなく、「自分たちで創りあげるネットワーク」を創ってきました。

自己財源の確保、受益者負担という考えにもとづき、各クラブから会費を徴収しています。(上記1参照)

### 3 連絡協議会の活動内容

クラブゾーン設立当初は、クラブ間に顔の見えるネットワークを構築していくことが課題でした。そこで、クラブゾーンの独自財源で有償のクラブコーディネーターを配置し、加盟クラブの巡回訪問を行い、御用聞き(ヒアリング)を実施しました。結果、コーディネーターが集めた各クラブの現状・課題やクラブゾーンへの要望を取りまとめ、クラブゾーン理事会等で協議するとともに、クラブ間で共有しました。その中でクラブゾーンの理念でもある「各クラブのマネジメント力の向上」が必須であることが再確認されました。同時にクラブのマネジメントのキーマンとなるクラブマネジャーの育成・成長が欠かせないことが明確になりました。

そこで現在、マネジメント力の向上及び人材育成の一環として、県外先進クラブ視察、ブロック別クラブミーティ

ング（平成25年度からブロック別クラブネットワークアクションに名称変更）や全国スポーツクラブ会議への合同参加（マイクロバス借用料の助成）をしています。

これまで県内では、多くのクラブマネージャーや事務局スタッフが日常の業務に忙殺されてしまい、クラブの外に出て新しい視点を持つことや、改めて自分のクラブを客観的に見るのが難しいという現状があります。また、どういったところに視察に行けばよいのかという情報がなかったり、視察研修の予算がなかったりという課題もありました。

その解決策として、合同で視察研修を行い、移動のためのマイクロバスの費用をクラブゾーンの会計から助成することで、より多くのメンバーが参加することができるようになりました。さらに、行き帰りのバスの車内や現地での視察中は参加者間での交流機会ともなっており、学んだ内容の振り返りやクラブ間での情報共有の場ともなっています。

また、新たな試みとして平成25年3月に公認スポーツリーダー養成講習会をクラブゾーン独自で開催しました。これまで日程や受講期間の問題で県内の既存講習会に参加できなかった方々が参加しやすくなり、13名が修了しました。

こういった様々な機会がきっかけとなり、現在はクラブ間での合同イベントの開催や日常的な情報交換が随時行われるようになってきています。



## 4 今後の展望

今後は、クラブ間での連携強化からクラブ以外の他分野（企業、大学、行政等）との連携を進めていく必要があると考えています。「スポーツや運動機会の提供を通じて地域の様々な課題を解決する」という総合型クラブと同じミッションを持つ団体は多いと考えます。それらの団体の橋渡し役を担うとともに、新たな事業や価値を生み出していくためには専任コーディネーターの配置が求められます。現在のところ、クラブからの会費のみでは専任コーディネーターを配置できるだけの財源はありません。クラブゾーンとしての自主事業収入やスポーツ振興くじ（toto）助成金等の活用により、継続的に人材を配置できる仕組みを模索しています。

これからもクラブが各地域の発展に寄与し、スポーツで「もっともっとハッピー」な地域が増えていくことに貢献していきたいと思えます。

西村 貴之（石川県クラブ連絡協議会 事務局）

## 5 連絡先

いしかわクラブゾーン事務局（NPO 法人クラブパレット内）

〒929-1123 石川県かほく市森レ1 番地宇ノ気体育館内

TEL：076-283-4411 FAX：076-283-4420

E-mail：[ishikawa.clubzone@gmail.com](mailto:ishikawa.clubzone@gmail.com)

Facebook：<http://www.facebook.com/ishikawa.club.zone>

## 助成金情報

申込締切：7月31日まで

▶ 第10回日本パートナーシップ大賞 [7月31日(水)18:00 必着]

[http://www.psc.or.jp/02\\_13.html](http://www.psc.or.jp/02_13.html)

[INDEXへ▲](#)

## お知らせ

### ●総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」の募集開始!!

総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が平成25年(2013年)度に設立5周年を迎えることから、その記念事業として、総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストを実施します。

応募資格：SC全国ネットワーク加入クラブ(含、設立準備中団体)

応募期間：平成25年5月1日(水)～8月30日(金) ※締切日当日までの応募有効

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2634>

### ●労力半分、効果は2倍! あなたにもできる「クラブのらくらく広報」を作成!

会員募集やクラブの周知が思うように進まない・・・

広報活動をする人手が足りず、技術もなく困っている・・・

そんなクラブの方のために効果的な広報を行うためのガイドを作成しました。

本会HP上からダウンロードできますのでご利用ください。

▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

### ●「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について

去る平成25年4月25日、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟は「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」を開催し、「暴力行為根絶宣言」を採択しました。

▶ 宣言文はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2636>

### ●「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン特別セミナー」を開催!

日本体育協会では、「フェアプレイ」が社会に浸透することを目指し、「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」を実施しています。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京での開催が望まれる今、「フェアプレイ」が日本中に浸透することを目指し、その価値を多くの方と共有することを目的に特別セミナーを開催しますので、ぜひ、ご参加ください!

日 時：平成25年6月23日(日)13時開演

会 場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

参加料：無料

申込締切：平成25年6月14日(金)まで

※往復はがきの場合は締切日当日必着、HP上からの場合は締切日当日の応募有効

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2639>

また、本会専用WEBサイト上でフェアプレイ宣言を行うことができます。

まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひフェアプレイ宣言をお願いします。

この度、室伏広治さんがフェアプレイ宣言しました！

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/people/index.html>

## ●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします！

2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が決定する9月7日まで、いよいよあと100日を切りました！

去る5月30日には、ロシア・サンクトペテルブルク市で開催されたスポーツアコード会議において、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致に向けて、猪瀬東京都知事らがプレゼンテーションや記者会見を行いました。

2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて、皆さまのますますの応援をどうぞよろしくお願いいたします。(twitter、facebook 等もご活用ください)

▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会ホームページはこちらから  
(貴クラブのホームページにリンクいただくなど、ご協力をお願いします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

## ●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

おかげさまで、現在約4,600の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。

個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方にお勧めください。

よろしくお願いたします。

### 【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会HPのトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。周りの方にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから  
<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)